

磯子

みどころガイド



区のシンボルマーク
(昭和58年10月制定)

このシンボルマークは、区民の交流と連帯の象徴となるよう、区民の皆さんから公募した作品の中から選んだものです。磯子区の頭文字「イ」をひらがなとローマ字の「i」(愛)で象徴化しました。海に隣接する区にふさわしいよう、波と未来に向う太陽をデザインしたものです。



15000
区の木「梅」
区の花「コスモス」
区の木・区の花
デザインマーク
(平成9年10月制定)

区の木「梅」…人と人の輪を円で表現。杉田の梅林と円海山をイメージして、海と山そして地球を表現しています。
区の花「コスモス」…コスモスはやさしい感じの花なので、2つのコスモスがやさしげに語りあっているようなイメージで描いています。



磯子区マスコットキャラクター
「いそっぴ」
(平成23年4月制定)

磯子まつりのマスコットキャラクターとしてデザインされ、平成23年4月に磯子区のマスコットキャラクターになりました。磯子の英文字「I・S・O・G・O」をモチーフに、頭には「区の木」である「梅」を飾っています。
※「区の花」であるコスモスを頭に飾っているバージョンもあります。



おとこやの平井の歌謡地
築くお花の塔のNo.1コート

魅力の磯子区
海入りに囲まれた

定価200円



目次

目次・本書の使い方	2
特集 磯子の一年	4
エリアガイド 根岸・臨海部周辺	8
<ul style="list-style-type: none"> コース1 磯子の海を楽しもう コース2 根岸に昔日の面影を探して 	
エリアガイド 岡村・滝頭周辺	12
<ul style="list-style-type: none"> コース3 歴史のかおり漂う岡村・滝頭を歩く コース4 磯子七福神をめぐる 	
磯子の話1 いにしえを語る遺跡	16
磯子の話2 堀割川の歴史と魅力	17
エリアガイド 磯子・屏風ヶ浦・汐見台周辺	18
<ul style="list-style-type: none"> コース5 昔に想いを馳せながら、海の眺めや小道を楽しむ コース6 閑静なまち並みを抜けて自然豊かな久良岐公園へ 	
エリアガイド 杉田周辺	22
<ul style="list-style-type: none"> コース7 歴史あり、景勝あり、にぎわいありの杉田の魅力スポット コース8 梅の香に誘われて古寺へそして海へと杉田を散策 	
磯子の話3 懐かしの路面電車	26
磯子の話4 磯子と梅	27
エリアガイド 洋光台・峰周辺	28
<ul style="list-style-type: none"> コース9 洋光台のまちを抜け、峯市民の森を歩こう 	
エリアガイド 氷取沢周辺	30
<ul style="list-style-type: none"> コース10 氷取沢市民の森の木漏れ日の中へ 	
特集 臨海工業地帯を探る 磯子の工場見学	32
特集 じっくり、ゆっくり楽しもう 区内施設ガイド	34
磯子の話5 磯子のむかしばなし	36
索引	38
「ちょっとした見どころ探し」を楽しむ	39

〈本書の使い方〉

●本書では、磯子のまちを楽しみながら歩けるコースをご紹介しますが、コースの中では通らない場所や施設等のガイドも掲載しています。コース以外の場所へも行けるように、明細地図を使用していますので、色々な道を歩いて磯子の新たな魅力を発見してください。

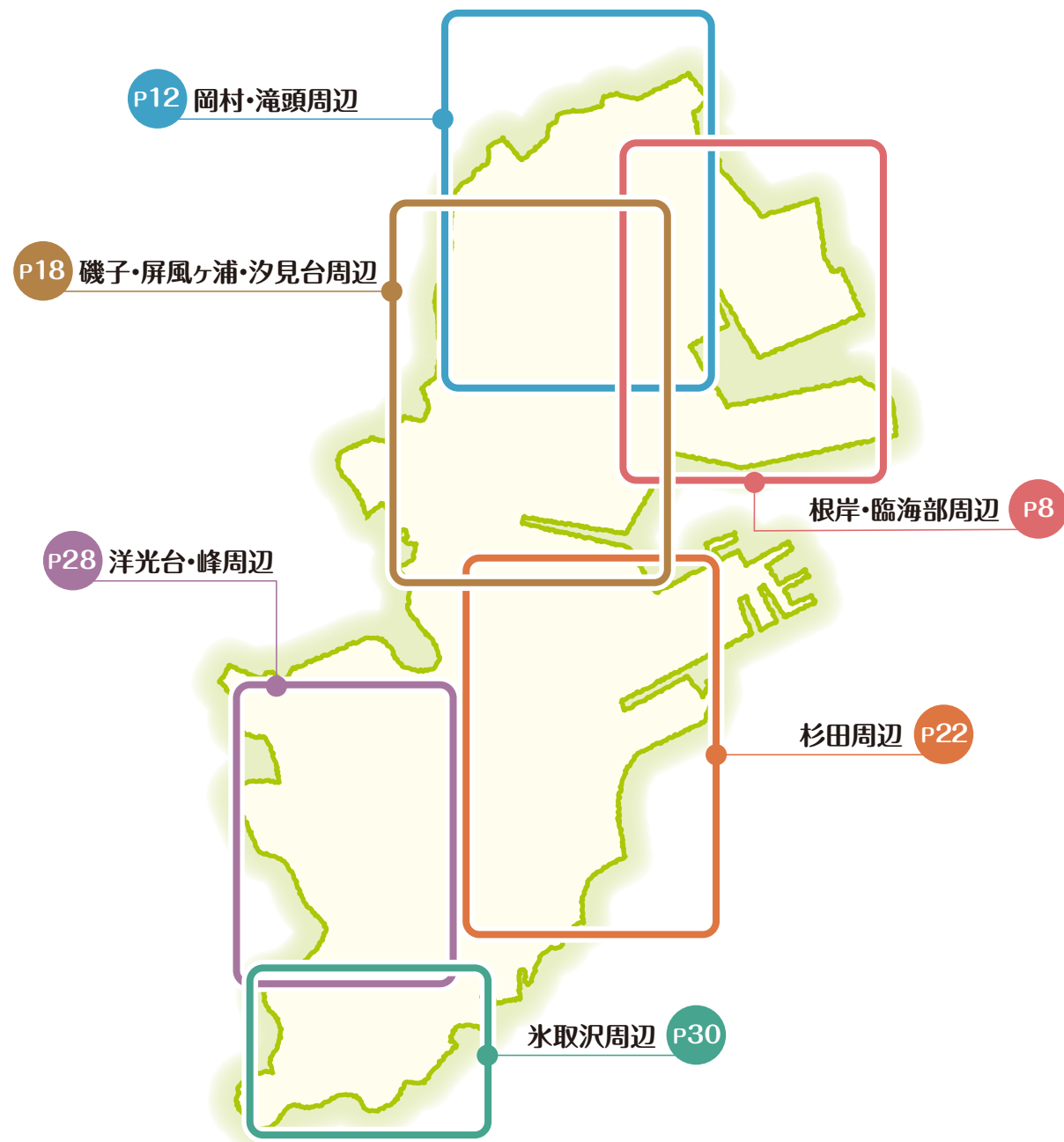
●道によっては通行不可などの場合があります。実際の道路の状況に従い安全な道を歩いてください。

●コースの時間は、景色やまち並みをゆっくりと楽しみながら散策した場合の目安の時間です。施設等の見学時間は含まれていません。

●1枚の地図で2コース紹介しているエリアがあるため、各コースと、エリアガイドで紹介している見どころの番号を、赤と青で色分けして表示しています。また、コースでは立ち寄らない見どころについても、便宜上、色分けした番号を付けています。

●情報は平成27年1月現在のものです。変更される場合もありますので、ご利用の際は、最新の情報をご確認ください。

●横浜市の外局番は「045」です。



●地図上のマークの凡例●

- ① …エリアガイドで紹介している見どころの番号
(コースごとに色分けして表示しています)
- …エリアガイドで紹介しているコース
(コースごとに色分けして表示しています)
- …その他のお勧めの道
- 1 …「磯子の逸品」の番号
- ✿ …桜
- 🌸 …コスモス
- 🍁 …紅葉
- 🏠 …ピュースポット
- ❁ …梅



本書でご紹介している「磯子の逸品」とは…

区内には、地域に根付き、愛されている名店や商品がたくさんあります。そこで、平成23・25年度に区内のおいしい食べ物や飲み物を広く募集し、選ばれた商品を「磯子の逸品」として認定しました。

磯子の一年

春を迎える

初春、ひんやりとした空気の中で見る景色は、新しい年の始まりを感じさせてくれます。そして2月には梅、3月には桜と、まちのあちらこちらで花が咲き始めます。



▲岡村天満宮 / 根岸正昭 撮影



▲根岸なつかし公園 旧柳下邸 / 三村保弘 撮影



▲森2丁目から / トモ 撮影



▲久良岐公園 / 有岡亨 撮影



▲大岡川分水路河畔プロムナード



▲東漸寺 / 高野洋 撮影

◆梅のお勧めスポット→P27

◆桜のお勧めスポット

- 岡村公園 (P13 / MAP:A-4)
- 久良岐公園 (P19 / MAP:A-3)
- 大岡川分水路河畔プロムナード (P19 / MAP:C-4)
- 新杉田公園 (P23 / MAP:C-3)
- 杉田川ふれあい散歩道 (P23 / MAP:C-3)
- その他、動物検疫所付近 (P9 / MAP:A-3)、汐見台・洋光台・上中里の団地など

新緑の頃

暖かい日差しを受け、若葉が輝く季節が訪れます。



▲磯子・海見える公園から



▲水取沢市民の森

磯子のまちにすむ生き物たち

磯子区南部に広がる広大な緑地、水取沢市民の森には大岡川源流域があります。そこで川が生まれ、川はまちを抜け、海に注ぎ込みます。川があり丘があり谷があり海がある、変化に富んだ地形を持つ磯子区は、森の中だけでなく、まちの中でも色々な生き物がすみやすい環境にあるようです。



〈メジロ〉

目の周りが白いでメジロ



〈ハッカチョウ〉

江戸時代などに飼い鳥として親しまれていた



〈ヤマトシジミ〉

シジミ貝のように小さな蝶



〈アオスジアゲハ〉

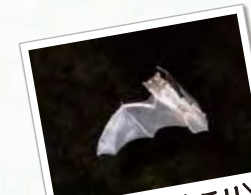
街路樹の上を高速で飛び回る

〈アユ〉

アユは、稚魚の時期は海で過ごし、成魚は川で生活する、海と川の間を旅する魚です。

夏から秋にかけて川でコケなどを食べて成長したアユは、秋には少し川を下って産卵します。

卵からかえった稚魚は、数日で海に下ります。そして、冬を越して春を迎え川の水があたたかくなると、川へと上りはじめます。初夏、大岡川には小さなアユが遡上してきます。向坂橋(栗木3丁目 P23 / MAP:A-4)付近までは観察されており、磯子区内でもその可憐な姿を見ることができます。



〈アブラコウモリ〉

小さいので蛾と間違えることも



〈アズマヒキガエル〉

夜に歩き回る

夏の まっ盛り

昔から続くお祭りや、夏のイベントなど、
人が集まり、まちがにぎわいます。

根岸八幡神社▼
(榊まつり)



▲堀割川 / 南輝明 撮影



▲杉田八幡神社 / 小林審一 撮影



▲高瀬雅通 撮影



▲森浅間神社(例大祭) / 政木正春 撮影

秋の 訪れと ともに

空が高くなり、さわやかな
風が吹くころ、磯子まつりや
地域のイベントに笑顔が
あふれます。



▲磯子3丁目(磯子まつり)



▲久良岐能舞台(久良岐まつり)



▲洋光台(キャンドルナイト) / キャンドルナイト@洋光台 撮影

秋の 訪れと ともに

そして、コスモスや紅葉など
でまちが色づき、外を歩くのも
楽しい季節になります。



▲水取沢市民の森 / 広木正治 撮影



▲久良岐能舞台



▲洋光台 / 森孝夫 撮影



▲水取沢町 / 室井義雄 撮影

◆コスモスのお勧めスポット

- 水取沢町の農業専用地区
(P31 / MAP:B-2)

◆紅葉のお勧めスポット

- 根岸なつかし公園 (P9 / MAP:B-2)
- 久良岐公園 (P19 / MAP:A-3)
- 久良岐能舞台庭園 (P19 / MAP:A-2)
- 水取沢市民の森 (P31 / MAP:A-3)
- その他、まちの街路樹など

寒さが増し、空気が澄んでくると、遠くの景色がはっきりと
見える日が多くなり、色々な場所で富士山や海の遠景の
眺めを楽しむことができます。



▲峰町から(ベイブリッジや根岸湾の眺め)

冬の 空気



▲根岸なつかし公園
旧柳下邸

◆富士山のお勧めスポット

- 岡村公園 (P13 / MAP:A-4)
- 松ノ内公園 (P23 / MAP:A-2)
- 峰町と栄区の間 (P31 / MAP:A-2)
- その他、森が丘1丁目と汐見台3丁目
の間など色々な高台



▲岡村公園から / ムッシュブラウド 撮影

根岸・臨海部周辺

根岸湾の風を感じて歩く磯子ならではの臨海部のお散歩コースと、開港時を思い描きながら散策できる根岸のコース。お弁当をもってのんびり歩いてみましょう。

コース① 磯子の海を楽しもう

JR根岸駅の駅前交差点を左折して海を目指すコースです。海岸通りは明るく開けていて気持ちのいい散歩道です。日差しが強い日は、忘れずに帽子をかぶって歩きましょう。途中、お弁当を広げるなら、眺望抜群の磯子・海の見える公園で。工場とヨットの

並ぶ磯子らしい海の眺めをお楽しみください。草地に寝転んでお昼寝するのもいいかも…。磯子海づり施設は長さ500mの細長い桟橋で、一年中釣りが楽しめます。見学だけでも入場が可能なので、釣らない人も、根岸湾を眺めてのんびり過ごせます。

JR根岸駅 徒歩15分 → ③農林水産省動物検疫所 徒歩15分 → ④磯子・海の見える公園 徒歩30分 → ⑤ISOGOエネルギープラザ(J-POWER) 徒歩5分 → ⑥磯子海づり施設 徒歩2分 → 磯子海づり施設バス停 JR磯子駅へ(市営バス85系統)

コース② 根岸に昔日の面影を探して

歴史ある寺や神社が点在する緑豊かな根岸の地。幕末に横浜の居留外国人の要求で建設された外国人遊歩道や根岸競馬場(根岸森林公園)など、開港後に外国人を迎えてきた歴史の名残をとどめています。埋立て後の現在のまち並みには、当時の遊歩道の面影はありませんが、磯子の

時代変化に思いを巡らせながら歩いてみるのも、感慨深いものかもしれません。

旧柳下邸は、洋館と和館が一体となった近代和風住宅。大正から昭和初期の暮らしぶりをうかがうことができます。また、堀割川でも石積み護岸などから、当時の姿を見ることができます。

JR根岸駅 徒歩15分 → ①八幡橋 徒歩15分 → ③根岸なつかし公園 旧柳下邸 徒歩3分 → ④根岸 徒歩20分 → ⑤根岸 徒歩15分 → JR根岸駅

逸品紹介

磯子の逸品



▲根岸正昭 撮影



1 タージタンドル根岸店
ほうれんそうカレー
磯子区東町12-25
☎755-1757



2 お好み焼ころんぶす
根岸店
キムチチャーハン
磯子区西町14-3
☎751-9449



3 横浜ピザハウス
ピザ22番
磯子区西町3-26
☎751-9498



4 田邊屋
みたらしだんご
磯子区西町3-15
☎753-8261



5 ル・ウィークエンド
プリン
磯子区西町8-15
☎751-9020



6 Pa・Pan(パン)
湯だね食パン
磯子区坂下町8-28
☎751-8707



7 柴原珈琲店
グアテマラ(コーヒー)
磯子区原町9-17
☎754-0585

14 →P12



① 根岸湾埋立ての記念碑

MAP: B-2

工場が立ち並び電車が行き交う現在からは想像もできませんが、昔この辺りは自然美あふれる海岸で、漁やのり養殖が行われていました。明治期から何度かの埋立工事を経た現在の海岸線は随分と沖へ後退し、海は遠くなりました。漁場を手放した当時の人たちの思いを刻む根岸湾埋立ての記念碑です。



② 横浜プールセンター

MAP: A-2

大きな流れるプールが一番の魅力。すべり台付きの児童プールや幼児プールもあるので、子どもから大人まで楽しめます。



【営業期間】7月第2土曜日～9月第1日曜日
9:00～17:00(入場は16:00まで)
【入場料】大人800円 3歳～中学生200円
【問合せ(営業期間中)】磯子区原町14-1
☎761-1948

③ 農林水産省動物検疫所

MAP: A-3

外国から日本に来る、あるいは日本から外国に行く動物の病気を調べるのがここ。全国の動物検疫所を統括する本所でもあります。施設には入れませんが、春には、川沿いの見事な桜を対岸から眺めることができます。



④ 磯子・海の見える公園

MAP: A-3

磯子第二ポンプ雨水滞水施設の屋上を利用した公園です。ヨットハーバーなど磯子の海の景色を間近に楽しむことができます。



【開園時間】7:00～17:00(3～5月・9～11月は～18:00
6～8月は～19:00)

⑤ ISOGO エネルギープラザ (J-POWER)

→P32

⑥ 磯子海づり施設

→P35

① 八幡橋八幡神社

MAP: A-2

明和3年(1766年)根岸八幡神社が現在の西町に移った跡地に、滝頭村の鎮守として創建されました。堀割川の掘削により社地が削り取られてしまったため、明治5年に社殿を移転改築し、現在に至っています。境内には樹齢数百年にもなる老樹が生い茂り、夏には涼しい木陰をつくっています。そしてこの神社には、市内屈指の大きな宮神輿が納められています。台車にのせた大神輿が巡行する例祭は、町内がとてにぎわいます。



ちょっとした見どころ

境内にある大きな球体



この大きな球体は一体何を表しているのでしょうか。海に浮かべるブイ(浮標)という説もありますが、詳細は不明。とても印象に残る意匠です。

② 堀割川

→P17

③ 根岸なつかし公園 旧柳下邸

MAP: B-2

明治から大正期の有力商人であった柳下氏によって建設されました。大正12年の関東大震災では一部倒壊したものの、大部分は損失を免れました。

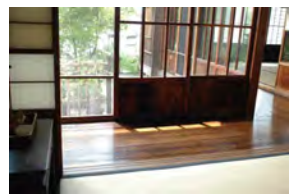
横浜市は、建物の寄附を受けて、できる限り創建当時の姿を復元し、平成14年11月には市指定有形文化財に指定しました。館内では、掘りこたつ、柱時計などの懐かしい調度や欄間の優美な細工、天井の透かし彫りなどを見ることができ、建物全体が展示品となっています。雛飾りや鎧兜・武者人形などの五月人形を展示する節句のイベントや、夏休みの小学生対象の五右衛門風呂体験などを通して大正から昭和初期の暮らしの雰囲気を感じることができ、市民の文化活動の場としても活用されています。

【開園】9:00～17:00 【開館】9:30～16:30
【休園・休館日】毎月第2・第4火曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始
【入館料】無料
【問合せ】磯子区下町10 ☎750-5022

ちょっとした見どころ

蔵の中には…

明治の初め、フランス人実業家アルフレッド・ジュラルは、横浜元町で、日本最初の本格的な西洋瓦(フランス瓦)の製造を始めました。ジュラル瓦とよばれたその西洋瓦が、柳下邸の屋根の改修時に、見つかりました。蔵の中に展示されているので、実物を見ることができます。



④ 根岸八幡神社

MAP: B-2

県指定天然記念物の鎮守の森に守られた古社。鳥居脇の神木大銀杏は樹齢推定600年。3年に一度、8月中旬に行われる「榊まつり」では、榊で作られたお神輿が色鮮やかな榊しゅばんに身を包んだ担ぎ手たちによって巡行します。この根岸の榊神輿は、平成24年に市指定無形民俗文化財になりました。



● 旧外国人遊歩道

MAP: B-2

山手から不動坂を下り、八幡橋あたりまで続いていたといわれる外国人遊歩道は、眼下に根岸湾が広がる風光明媚な場所でした。現在、その面影はなくなってしまいましたが、居留外国人のためにつくられた優雅な散歩道だったようです。

⑤ 根岸森林公園 (中区)

MAP: B-1

居留外国人の要求でつくられた日本初の本格的近代競馬場の跡地に整備されたのが、この緑あふれる根岸森林公園。なだらかな敷地いっぱいに広がる芝生の広場は、ゆったりくつろげる空間です。

また、春の「桜山」は、まるで桜の雲が一面に広がっているかのような素晴らしい景観です。隣接する根岸競馬記念公苑内にある「馬の博物館」は、馬と人との交流によって生まれた様々な文物を、5つのテーマに分けて紹介しています。

公苑内のポニーセンターでは、ポニーやミニチュアホースを飼育しており、子どもの乗馬体験など、馬に親しむことができるイベントも行っています。

【問合せ】南部公園緑地事務所都心部公園担当 ☎671-3648

〈根岸競馬記念公苑・馬の博物館〉

【開苑時間】9:30～17:00 【開館時間】10:00～16:30(入館は16:00まで)
【休苑・休館日】月曜日(祝日・振替休日は開館)・年末年始 【入苑料】無料
【入館料】大人100円 小・中・高校生30円 【問合せ】中区根岸台1-3 ☎662-7581



岡村・滝頭周辺 磯子七福神

下町のあたたかみある岡村・滝頭には、昔ながらのものがたくさんあります。磯子七福神めぐりは約9kmの健脚コース。年の初めに開運招福を祈念しつつ、歩いてみてはいかがでしょうか。

コース③ 歴史のかおり漂う岡村・滝頭を歩く

岡村、滝頭を歩くと、地蔵や庚申塔などの歴史を感じさせるものや、川の名残、昔から続く銭湯、商店など、どこか懐かしいものを見つけることができます。このコースではバス停滝頭から横浜市電保存館を通り、丸山日用品市場など昔ながらのものを楽しみつつ、細い路地を上り、「高橋」を渡

ります。太古の集落跡が残る三殿台遺跡に寄ったあとは、岡村天満宮、岡村公園へと足をのばしましょう。梅の時期には紅・白・薄桃、たくさんの梅の花が、優しい香りで迎えてくれます。また、三殿台遺跡や岡村公園などの高台は、見晴らしが良く、晴れた日には遠くまで見渡すことができます。

JR磯子駅から(市営バス113・9系統・滝頭バス停 徒歩5分) ①横浜市電保存館 徒歩45分 ②三殿台遺跡 徒歩20分 ③岡村天満宮 徒歩5分 ④岡村公園 徒歩15分 笹塚バス停 JR磯子駅へ(市営バス64・78系統・神奈中バス60・64系統)

コース④ 磯子七福神をめぐる

金蔵院(弁財天)、真照寺(毘沙門天)、密蔵院(布袋尊)、宝積寺(恵比寿)、弘誓院(福禄寿)、宝生寺(寿老人)、金剛院(大黒天)。区内にある5つの寺院と、南区にある2つの寺院、あわせて7つの寺院を巡ります。古くから庶民の支持を受け

てきた七福神詣で。お正月の行事として現在も定着しています。長いコースなので、1日で歩くのが大変な場合は、バスを利用して2日に分けて歩いてはいかがでしょうか。お正月に磯子七福神をめぐる小さな旅を楽しんでください。

JR磯子駅 徒歩25分 ①金蔵院 徒歩15分 ②真照寺 徒歩12分 ③密蔵院 徒歩25分 ④宝積寺 徒歩25分 ⑤弘誓院 徒歩10分 ⑥宝生寺 徒歩40分 ⑦金剛院 徒歩5分 横浜岡村郵便局前バス停 JR磯子駅へ(市営バス78系統・神奈中バス60系統)

逸品紹介



- | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
| <p>8 磯子風月堂
ごまだね餅
磯子区磯子2-21-7
☎751-0200</p> | <p>9 創作銘茶 増田園
八女玉露 久良岐
磯子区久木町23-16
☎751-4604</p> | <p>10 カフェレストラン洗濯船
タンシチュー
磯子区久木町20-3
☎753-6144</p> | <p>11 小島家
若どり唐揚
磯子区久木町20-3
☎751-5841</p> | <p>12 はまや高木食品店
昆布の佃煮
磯子区久木町20-5
☎751-7610</p> | <p>13 グルメショップ・カネヒラ
三角コロッケ
磯子区久木町20-4
☎752-2943</p> |
| <p>14 クッキー専門店
クッキー
詰め合わせ
磯子区中浜町14-8</p> | <p>15 西洋料理たじま
ハヤシライス
磯子区
広地町1-12
☎751-5926</p> | <p>16 平和楼
タンメン
磯子区
丸山2-10-11
☎751-3416</p> | <p>17 レストラン・シン
ハンバーグ
日本風
磯子区丸山
2-20-10-105
☎753-9702</p> | <p>18 芋や
大学いも
磯子区丸山
2-25-17
☎753-0683</p> | <p>19 岡本惣菜店
ポテトフライ
磯子区岡村
3-5-16
☎751-4453</p> |
| <p>20 欧風菓子
フリアンドール
牧場の便り
磯子区岡村
4-23-6
☎761-3170</p> | <p>21 モンマルト
モン・ブラン
磯子区岡村
2-11-35
☎753-6366</p> | | | | |



① 横浜市電保存館

→P26

② さんとのだい 三殿台遺跡

→P16

③ 岡村天満宮

MAP:A-3

創立の年月は定かではありませんが、岡村天満宮はたいへん古く、京都の北野天満宮の分霊を、源頼朝の家臣が祀ったことが始まりだと伝えられています。明治から昭和の初めまでは天神参りでにぎわい、多くの参拝者が訪れていました。現在も学問の神様として、合格祈願の人々を集めています。境内には、石造りの臥牛があります。体に悪いところがある人は、牛の同じ場所をなでて、そのなでた手で自分の悪いところをさするとご利益があるといわれています。



④ 岡村公園

MAP:A-4

天神道路をはさんで左右に広がる緑豊かな公園で、道路の西側には大きな梅林(岡村梅林)があります。谷戸の斜面を利用した敷地には約150本の梅が植えられ、散策路も設けられています。また、野球場、テニスコートのある東側は高台で、横浜ランドマークタワーや富士山などを望むことができ、夜景スポットとしても有名な公園です。公園を左右に分ける天神道路の歩道上に「ここに立つと富士山が見える」ポイントがマークで表示されています。



▲吉富和彦 撮影

【問合せ】☎751-4375

(野球場・テニスコートの施設利用(有料)の問合せは市民利用施設予約システムサービスセンター ☎759-3737)



⑤ ひえ おおかみ 日枝大神

MAP:B-5

金蔵院の西どなりの山の中腹にある日枝大神は、旧磯子町の鎮守として親しまれてきた古社です。創建年代は不詳ですが、鎌倉時代末には現在地に鎮座していたといわれています。元日には、参拝者とともに大太鼓をたたき初詣の行事があります。



● 禅馬川

現在は暗きよになっている禅馬川は、金剛院前を通り、天神道路と交差して、磯子小学校脇を流れて海へ注いでいました。昭和20年代までは、ドジョウ・ウナギ・フナ、そして、ところどころにシジミなどもいたそうです。

ちょっとした見どころ

川をたどる

禅馬川が流れていた道には、ところどころに川があったことを思わせるものが残っています。そうしたものを探しながらの散策も楽しいのでは。



磯子七福神

① こんぞういん 金蔵院

弁財天 MAP:B-5

磯子観音の別名で、安産や厄除けの信仰を多く集める金蔵院は、鎌倉時代に創建されたと伝えられています。本堂左側にある朱塗りの観音堂は、200年の歴史を持つ群馬県妙義神社の護摩堂を昭和49年に移築したものです。



② しんしょうじ 眞照寺

毘沙門天 MAP:C-4

寿永元年(1182)に、源頼朝の御家人で磯子一帯を治めていた平子氏によって中興された寺であると伝わっています。本堂に安置されている木造毘沙門天立像は、平安時代後期の仏像で平成20年に市指定文化財になりました。



③ みつぞういん 密蔵院

布袋尊 MAP:C-3

開山は不詳ですが、文字の判読できる古い墓石には、慶長4年(1599)とあり、慶長5年の宝篋印塔があることから、慶長のころには創建されていたものと推測されます。

室内には本尊である不動明王のほかに、閻魔大王をはじめとする十王像などが安置されています。



④ ほうしゃくじ 宝積寺

恵比寿 MAP:C-2

鎌倉時代に開かれたと伝えられる古寺です。昭和初期に建てられた掛けやき造りの本堂が見事な構えを見せています。本堂入口には一本つくりの上り龍・下り龍の彫刻が施され、境内の花々が四季折々に目を楽しませてくれます。

恵比寿大神は七福神のなかで唯一の日本出身の神様です。

2~4月は河津桜、吉野桜、おかめ桜、あたま桜など桜が見どころです。



⑤ くぜいん 弘誓院(南区)

福祿寿 MAP:B-1

戦国時代の天文5年(1536)に創建されたといわれ、京都仁和寺から「妙法山観世音寺」の山号寺号を賜った由緒ある寺です。宝生寺と弘誓院の裏山の寺林は、自然のままの常緑広葉樹林で、県指定天然記念物となっています。



⑥ ほうしょうじ 宝生寺(南区)

寿老人 MAP:B-1

平安時代末期の承安元年(1171)に覚清法印によって創建されました。鎌倉・室町時代には、平子一族の菩提寺として、また武将の祈願道場として栄えました。さらに、江戸時代には末寺約50の寺をもっていました。本堂(灌頂堂)は、市指定文化財です。



⑦ こんごういん 金剛院

大黒天 MAP:A-3

江戸時代初期に中興されたと伝えられます。もとはインドの神様である大黒天は、日本に伝わるなかで、いなばの白兔の伝説で知られる大国主命と同一視されて定着しました。

毎年11月3日に「大黒天大祭」が行われます。



● 疎開道路

疎開道路は磯子橋周辺の町を縦横に走っています。この道は、第二次世界大戦末期、延焼防止のために建物の強制疎開によってつくられました。それから60年以上たった静かなまち並みにも、道の名は残っています。

● 四間道路

この道は、関東大震災後に整備され、道幅が四間あったことからその名がつけられたといわれています。四間はおよそ7.3m。今の尺度では広くは感じられませんが、名前に残るくらい、当時は広く思われていた道路だったのかも知れません。

※磯子周辺のガイドはP18~21もご参照ください。

三殿台遺跡

P13 / MAP:A-2

磯子区岡村の標高55mほどの小高い丘の上にある三殿台遺跡。そこには縄文・弥生・古墳時代の3つの時代のムラの跡があります。この丘で太古の昔から、海を眺め、自然の恵みや台地という地形を生かしながら、人々が支え合い生活していたことを思い浮かべると、何千年も昔のことがとても近く感じられます。



▲発掘当時(昭和36年)

Ⅱ 発掘された3つの時代 Ⅱ

約4500年前の縄文時代中期、この時代は遺跡の近くまで海が入り込み、ここで暮らしていた人々は、海辺において貝や魚を採ったり、野山でシカやイノシシを捕まえていました。

そして約2000年前の弥生時代中期、稲作など本格的な農耕生活が始まり、新しい生活様式を持った人たちがやってきました。同時に建てられていたのは20軒程度と考えられ、当時としては規模が大きく、この大岡川流域の中心的なムラでした。

その後の約1400年前の古墳時代後期、この地方が大和を中心とする古代国家の支配下に入ったころ、農民たちは弥生時代と大差ない住居に住んでいましたが、家の中にはカマドが備えられるようになり、食生活に大きな変化があったことがわかります。

Ⅱ 昭和36年発掘調査 Ⅱ

ここに遺跡があることは、明治時代から知られていました。昭和30年代になり、隣にある岡村小学校(当時、滝頭小学校岡村分校)の拡張予定地になったことから、昭和36年夏、延べ5,000人の研究者や学生、市民が参加し、遺跡全体の発掘調査が行われました。学校の夏休み期間中という短期間だったため、ブルドーザーなども使い、小学校に泊まり込んでの調査でした。調査によって、全域で約250軒(それまでの予備調査も含めると約270軒)もの竪穴住居跡などが複雑に重なり合っており、大岡川流域の原始・古代のムラの様子と当時の生活を知ることができる、とても貴重な遺跡であることがわかりました。周りは宅地開発が進みましたが、この遺跡は昭和38年に永久保存が決まり、昭和41年に国の指定史跡となり、今も大切に保存され、出土品の復元などが続けられています。

横浜市三殿台考古館

敷地内には、復元住居のほか、弥生時代の住居跡を露出保存した保護棟、出土品や貝塚の標本などが見られる展示室があり、希望者には遺跡の解説もしています。そのほか、古代人の生活が体験できる各種教室なども開催しています。



▲磯野淳子 撮影



▲火起こし体験教室

【開館時間】9:00~16:00(4~9月は~17:00)
【休館日】第3水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【入館料】無料
【問合せ】磯子区岡村4-11-22 ☎761-4571

ちょっとした見どころ

歴史的な価値もさることながら、遺跡の静かなたたずまい、丘から見える富士山や丹沢の山々、みなとみらい方面の眺望も魅力のひとつ。また、岡村出身のフォークデュオ「ゆず」のCD「すみれ」のジャケットの撮影場所のひとつになったことから、ゆずファンも多く訪れ、記念に書き残していくノートがすでに30冊を超えるとか。



明治初期に開削された運河



堀割川は、明治初期に開削された全長2.7kmの人工運河です。

安政6年(1859)に開港した横浜では、開港にともなって物資の輸送が増加しました。そして、舟を使って港から川筋へ、さらに川筋から川筋へと輸送が多くなると、横浜港と根岸湾を結ぶ運河の必要性が考えられるようになりました。

堀割川は、中村川から根岸湾までを開削し、そのときに出た土で吉田新田内の沼地(今の中区扇町・寿町付近)を埋め立て、加えて中村川の拡幅や滝頭波止場(今の動物検疫所辺り)を建設するという大事業によって明治7年に完成した川で、舟運路として重要な役割を果たしました。



【明治初期】



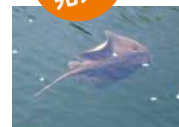
▲絵はがき「横浜根岸堀割の桜」(横浜開港資料館所蔵) 今も国道16号に残っているヘルムドック跡の水路に架かる「矢倉橋」が対岸に見られる。

大正12年の関東大震災では壊滅的な被害を受けましたが、復興事業により、石積みの護岸で復旧され、各所に荷揚場や階段などがつくられました。

堀割川は、震災復興期の姿をほぼそのままの形で今に伝える貴重なもので、平成22年には、土木学会選奨土木遺産に認定されました。

小さな発見!

堀割川ではこんな生き物を見ることができます。



〈▲アカエイ〉 潮の満ち引きで海から川に上ってくることも



〈▲カワウ〉 水に潜って魚を捕らえる



〈▲イソヒヨドリ〉 きれいな声で鳴く

いまでも残る近代土木遺構

舟運を支えた堀割川には、船から荷物の積み降ろしをするための荷揚場や階段、船をつなぐための繫船柱と繫船環が規則的に配置され、運河沿いに木材業、造船所、煉瓦や染物工場などが建ち並び、運河を行き来する舟でにぎわいをみせていました。現在も川のいたるところでその名残を見ることができます。



▲天神橋上流の荷揚場・石積み階段 ▲石積み護岸と下水吐口 ▲階段護岸と繫船柱 ▲繫船環 ▲矢倉橋とヘルムドック跡

堀割川にかかる橋

P9 / MAP:A-2

河口側から八幡橋、磯子橋、坂下橋、根岸橋、天神橋まで5つの橋が磯子区内にあり、ところどころで昔がしのべられます。

《橋ごとにデザインが異なる親柱》



▲八幡橋 ▲根岸橋 ▲天神橋

《橋の名前が書かれている橋桁》



船を操る人が位置を知るための重要な目印になっていたようです。

《橋からの眺望》

舟運を支えた運河の面影は、石積み護岸や荷揚場だけでなく、広がりある川の風景を橋から眺めることでも感じ取ることができます。



▲根岸橋

磯子・屏風ヶ浦・汐見台周辺

空気の澄んだ日に丘を上げれば磯子の海や房総半島、富士山や丹沢の景色が楽しめます。そして、自然を満喫できる公園があることも、このまちの自慢です。

コース⑤ 昔に想いを馳せながら、海の眺めや小道を楽しむ

JR磯子駅から、まずは安藤橋、芦名橋の跡を探しながら磯子アベニューをまっすぐ進みます。その後、昔、禅馬川(→P14)が流れていた道をたどりつつ真照寺(→P15)方面へ。真照寺裏山は、磯子のむかしばなし「しりもち山」(→P36)で語られています。この手前の道を上っていくと、パノラマの景色が広がります。さらに進み、海

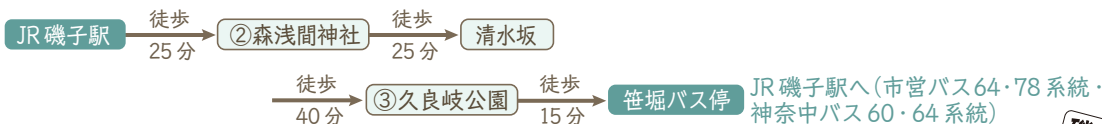
の景色を堪能したら、つづら折りの道を下り、細い道を抜けて行きましょう。日枝大神(→P14)を過ぎ、左手に山が見えてきたら左折し、山すそに沿った古道へ。ところどころで眺望を楽しみつつコースをたどって行くと旧東伏見邦英伯爵別邸(貴賓館)のある高台に出ます。



コース⑥ 閑静なまち並みを抜けて自然豊かな久良岐公園へ

まちの中にあって美しい自然の景色を見せられる人気の公園、久良岐公園。そこへ向かう道は、たくさんあります。このコースでは、森浅間神社を訪れてから、清水坂を上って根岸湾や富士山の景色を楽しみつつ公園に向かいますが、緑に囲まれ

たやと坂(七曲坂)の階段をのんびりと上っていくコースや、汐見台の団地を抜けて公園でたっぷり過ごすコースもお勧めです。久良岐公園を散策したあとは、日本庭園の静かなたづまいが堪能できる久良岐能舞台に立ち寄り、笹堀のバス停へ。



逸品紹介



22 お好み焼き 宇多川
お好み焼き
(ミックス天)
磯子区磯子3-6
☎751-0785



23 トラットリア
ロゼ・ディ・ヴェンティ
ピザスパ
磯子区磯子3-6-23
アイランドビル1F
☎761-2201



24 韓料理 夢回廊
キムチチゲ
磯子区森2-1-14
☎754-4011



25 天ぷら活魚 井筒
かき揚げ丼
磯子区森1-2-1
同潤会磯子ハイツ104号
☎752-2220



26 パティスリー アン・グーテ
グーテシュ
磯子区森3-3-17
☎752-4173



27 奴寿司
お好みランチ(8貫)
磯子区森3-3-17
☎753-1263



28 御菓子司 光永堂
大福
磯子区森3-14-33
☎751-0216



29 マロン菓子店
マロンシャンテリー
磯子区森4-7-9
☎753-2566



30 きねや製菓
きな粉団子
磯子区汐見台1-6
☎751-3242



31 杉さんの店 櫻(けやき)
クリームあんみつ
磯子区汐見台1-6-1-109
☎751-4211

8 ~ 13 → P12



① 磯子アベニュー

MAP:C-3

水がわき出しまちを流して海に注ぎこむという「水の一生」をテーマに、せせらぎのある遊歩道として、昭和62年につくられました。区役所地下からくみ上げられたわき水と、木々を吹き抜けてくる風が気持ち良く、貝殻や小石を埋め込んだデザインが、海辺の記憶を思い出させます。昭和63年には、建設省(現、国土交通省)が主催する、地域に根差した魅力ある施設に贈られる「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞しました。



② 安藤橋・芦名橋

MAP:C-2

昔の磯子は、海を間近に見下ろす景勝を持つ反面、海に迫った断崖が陸の交通を不便にしていました。この対策のため、明治の終わりから海岸線が埋め立てられ、県道(今の国道16号)が開通し、道を横切る水路に橋が架けられました。昭和30年代の埋立てで橋はなくなりましたが、「安藤橋」は親柱が保存され、「芦名橋」は公園としてその名前が残っています。



③ 浜マーケット

MAP:C-1

戦後の闇市が発展してできたレトロな味わいのある商店街で、新鮮な魚・肉・野菜、惣菜などの商店が並んでいます。「8」の付く日と27日と土曜日は、特売日です。



④ 旧東伏見邦英伯爵別邸(貴賓館)

MAP:B-3

海が一望できる磯子の高台にあるこの建物は、東伏見邦英伯爵(久邇宮家から臣籍降下した人物)の保養のための別邸として、昭和12年に建てられたものです。その後、この一帯に横浜プリンスホテルがあった時には、「貴賓館」と呼ばれて使用されていました。現在は新たにレストランとして利用されています。



外観は、緩やかな傾斜の屋根とひさしが幾重にも重なって城郭のような印象があり、日本古来の伝統的風情をかし出しています。内部は洋風のつくりで、階段室は3階まで吹き抜け、2階に上がると天井にイスラム風の星形の模様が見られます。

戦前の横浜の別荘建築の代表として貴重な存在で、平成5年に市の歴史的建造物に認定されました。

⑤ プリリアシティ横浜磯子のグランドエレベーター

MAP:B-3

JR磯子駅から徒歩4分のところに、坂を上ることなく旧東伏見邦英伯爵別邸(貴賓館)のある高台まで約60mを一気に昇ることができる、プリリアシティ横浜磯子の専用エレベーターがあります。ゲートを通り、柔らかな光に包まれた通路を抜け、エレベーターで頂上に着くと、目の前に磯子の海が広がります。

【利用できない時間】深夜1:24~3:51

【利用料】50円(スイカ・パスモのみ、現金不可)※未就学児は無料

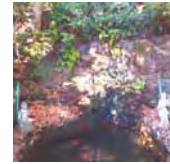
【問合せ】磯子タウンマネジメント倶楽部 ☎750-4171



① 朝日不動滝

MAP:B-4

鎌倉時代に修験者が移り住み、不動明王を祀り不動滝として修行したといわれています。朝日に輝く荘厳さが、その名の由来になっています。周辺の開発で水量は減少しましたが、今も湧水が流れています。



② 森浅間神社

MAP:B-4

急な階段を上った場所にある森浅間神社は、鎌倉時代につくられたと伝えられています。神社とその周辺の樹叢は、県の天然記念物に指定され、斜面に広がる樹木や、社叢林の中にある推定樹齢200年の木など、貴重な自然林が静かに残されています。神社では毎年8月に、お磯子が鳴り響き、神輿や花山車が町内を練り歩くお祭りが行われます。



③ 久良岐公園

MAP:A-3

港南区と磯子区にまたがる広大な公園で、春の梅や桜、夏の棚田の緑、秋の紅葉など四季を通して自然の景観を楽しむことができます。園内の大池・中池のある辺りは、昔、大きな谷戸が入り込んで水田になっていたところを整備したもので、今も色々な生き物を観察することができます。その他、散策路や自由広場、芝生広場、子どもの遊び場など。また、公園の北側には久良岐能舞台(→P34)があり、公園内の山道を通して能舞台の日本庭園に抜けることもできます。



◀吉富和彦 撮影



▲桜井宏介 撮影

【問合せ】南部公園緑地事務所 ☎831-8484

(公園内から久良岐能舞台へ抜ける道の開門時間は9:00~16:30(久良岐能舞台の休館日・雨天時は開門))

小さな発見!

久良岐公園にはこんな生き物がすんでいます。



◀▲タヌキ

姿を見かけることはまれ



◀▲モズ

秋や冬に大きな声で鳴く



◀▲ツグミ

小走りしては止まる



◀▲ゲンヨボタル

初夏に光る



◀▲タマムシ

見る角度で色が違う



◀▲カブトムシ

雑木林にいる昆虫の王様



◀▲ベニシヨジ

明るい草地にいる

ちょっとした見どころ

修復された市電

園内には昭和48年の開園当初から展示されている横浜市電「1150形」があります。長年の風雨などで荒れた状態でしたが、平成24年に地元の企業などのボランティアによって修復され、きれいによみがえりました。普段はフェンス越しにその姿を見ることができます。



④ 大岡川分水路河畔プロムナード

MAP:C-4

大岡川の氾濫を防ぐためにつくられた大岡川分水路、その流れに沿って続いている道が、大岡川分水路河畔プロムナードです。春には根岸湾まで続く桜並木が一斉に花を咲かせ、美しい彩りを見せてくれる、穴場の花見スポットです。



※このエリアは、P12~P15のエリアと重なっている部分があります。そちらのガイドもご参照ください。

杉田周辺

江戸時代、杉田の梅は江戸近郊の名所として多くの人々が訪れるほど有名でした。梅や桜、富士山や商店街と、色々な杉田の楽しみがあります。

コース⑦ 歴史あり、景勝あり、にぎわいありの杉田の魅力スポット

JR新杉田駅をスタートし、東漸寺へ一歩入ると、まちのにぎやかさが嘘のような静けさに包まれます。その後、京浜急行のガードをくぐり、線路沿いに進みます。途中、中原地蔵や滝の下庚申塔からそこが古道であることを感じながら松ノ内公園を目指し

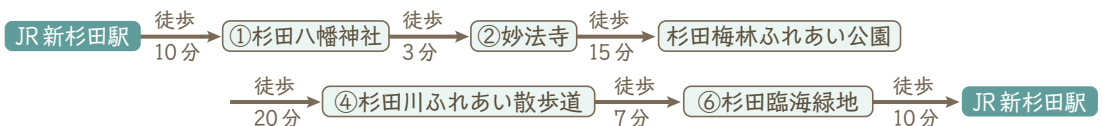
て上ります。公園から富士山の景色を堪能したら、高台から見えるまち並みや海の景色を眺めつつ、切通しのある杉田新道へ。車に注意しながら進み、熊野神社に立ち寄った後は、色々なお店が立ち並ぶにぎやかな商店街をゆっくり楽しみましょう。



コース⑧ 梅の香に誘われて古寺へそして海へと杉田を散策

JR新杉田駅をスタートしたらまずは杉田八幡神社に立ち寄り、路地を抜けて妙法寺へ。樹齢約600年(推定)の大木が迎えてくれます。妙法寺で杉田の梅林の面影を探しつつ、杉田梅林ふれあい公園へ向かいます。途中、遠景に通り過ぎる電車

や、高台からの海を眺めることができます。その後、杉田川ふれあい散歩道を散策しながらさらに海に向かって進むと、海に接する杉田臨海緑地に到着します。時間があれば、散歩道から新杉田公園に寄るのも良いかもしれません。



逸品紹介



- | | | | | |
|--|--|--|---|---|
| <p>32</p> <p>天邪喰
フランスパンの揚げ出し
磯子区杉田1-5-7
KYTビル1F
☎770-5036</p> | <p>33</p> <p>パレード・バルブ
ランチコース
磯子区杉田1-9-13
☎773-2981</p> | <p>34</p> <p>菓子-
梅さやか
磯子区杉田1-12-29
☎771-7659</p> | <p>35</p> <p>ドラ アン フルール
ドラのロールケーキ
磯子区杉田1-20-21
☎771-1468</p> | <p>36</p> <p>DINING BAR X-Ray 杉田店
モスコミュニケーション
磯子区杉田1-22-20
☎769-2269</p> |
| <p>37</p> <p>黒煙~kokuen~
唐マヨ丼
磯子区杉田1-19-10</p> | <p>38</p> <p>杉田料理 1+11(けい)
鮮魚のピヤベース
磯子区杉田2-1-8
塚田ビル1F
☎308-6552</p> | <p>39</p> <p>肉の石川
ジャンボメンチカツ
磯子区杉田1-16-9
☎771-5598</p> | <p>40</p> <p>金喜屋
クリームメロンパン
磯子区杉田1-16-7
☎771-2651</p> | <p>41</p> <p>タージタンドール杉田店
ほうれんそうカレー
磯子区杉田3-11-11
☎772-2627</p> |



① 東漸寺

MAP:B-2

東漸寺は鎌倉時代に創建された臨済宗建長寺派の寺院です。根岸湾が埋め立てられる前は、釈迦堂から総門を通して海を見通すことができ、また、斜め後ろには屏風ヶ浦の崖を見渡すことができました。この景勝を詠んだ詩が、東漸寺詩板(市指定有形文化財)に残されています。



釈迦堂(県指定重要文化財)は、正安3年(1301)の梁牌が確認されており、「禅宗様方三間裳階付仏殿」と呼ばれる仏教建築で、創建年代の明確なものでは、日本最古の建造物です。



また、梵鐘(国指定重要文化財)は、永仁6年(1298)に鋳物師物部国光がつくった、形と技法の優れた鐘として知られています(鐘楼は新鐘)。その他、鎌倉時代初期の木造薬師如来坐像や鎌倉時代後期につくられた五輪塔(共に県指定重要文化財)、応永2年(1395)につくられた木造伽藍神倚像や木造達磨大師坐像(共に市指定有形文化財)など、この寺院には中世の重要な文化財が現在も多数残されています。

③ 熊野神社

MAP:A-2

建久3年(1192)、源頼朝の命で創建されたこの神社は、高い石段が続きます。その昔、杉田に観梅客が海路・陸路から訪れたころ、神社境内の高台は梅見の場所として知られ、にぎわいました。境内には梅を詠んだ芭蕉らの句碑があります。



④ 杉田の商店街

MAP:B-2

京浜急行杉田駅に直結する「プララ杉田」からJR新杉田駅に直結する「らびすた新杉田」まで、その周辺も含め、通りには新鮮な野菜や魚・肉、菓子・雑貨店、飲食店などのお店が隙間なく並び、昼も夜も活気あふれた商店街です。



① 杉田八幡神社

MAP:B-3

この神社は、康平6年(1063)に源義家が創建したと伝えられています。神社拝殿前には、獅子の形をしていない、純日本的な珍しい姿の「和様こま犬」が並んでいます。丸顔の一見ユーモラスなこのこま犬は、元禄5年(1692)のもので、市の地域有形文化財にも登録されています。毎年8月の第4土・日曜日は、神社の祭礼が行われ、神輿や催し物で、杉田のまちがにぎわいます。



小さな発見!

口が空いている右の「阿」の和洋こま犬、よく見ると鼻の形が少し変わっているようです。これは、大正時代に杉田相撲団が力比べで持ち上げて落としたためだとか。

② 松ノ内公園

MAP:A-2

根岸湾も見える高台に位置し、「関東の富士見百景」にも選ばれている人気の撮影スポットです。空気の澄んだ冬にはよりきれいに富士山が望めます。



▲中西洋夫 撮影

② 妙法寺

MAP:B-3



江戸時代、梅の名所として広く知られた杉田梅林。その中心として観梅客でにぎわった妙法寺は、梅林の生みの親・間宮信繁の菩提寺でもあります。早春には、名木・照水梅(しだれ梅)をはじめとする50本余りの梅の木が咲き、今も訪れる人々を楽しませてくれます。山門前には、かながわの名木100選にも選ばれている樹齢600年(推定)の古木、ビャクシン(和名:イブキ)が鎮座する歴史ある古寺です。また、日本武尊が妙法寺の裏山にあった大松(神松)の下で亡き妻をしのんだという伝説もあります。

③ 海洋研究開発機構 横浜研究所 地球情報館

→P35

④ 杉田川ふれあい散歩道

MAP:C-3

磯子区と金沢区の境にあるこの道は、小さな川のせせらぎと桜並木の木漏れ日が気持ちのよい遊歩道で、小川では海の小魚も観察できます。



小さな発見!

海につながるこの小川は、満潮になると水位が上がり、遊歩道が水没することもある。散歩しながら潮の満ち引きを感じることができる道です。



⑤ 新杉田公園

MAP:C-3

ジョギングコースやテニスコート、野球場、ドッグラン、レストハウスがあるスポーツ向けの公園で、散歩に訪れる人も多いようです。芝生の広場もあり、入口の桜並木や手入れされた花壇がきれいです。(ドッグランは会員制・有料)

【問合せ】☎776-3313
(テニスコート・野球場の施設利用(有料)の問合せは市民利用施設予約システムサービスセンター ☎759-3737)



⑥ 杉田臨海緑地

MAP:C-2

海に接した場所にあり、多目的広場や草地広場、築山があります。築山のベンチに腰をかけて、のんびりと潮風を受けながら海を眺められます。



⑦ 坪呑公園

MAP:A-4

遊歩道やトンボ池、せせらぎなどがある緑豊かな公園で、春には桜の花も楽しめます。昔の自然を取り戻そうとつくられた自然生態園では、一部フェンスをして今も大切に自然を守っています。



※H27.1現在、自然生態園付近はがけ崩れのため見ることができません。



横浜市電

明治37年に市民の足として開通した路面電車。「チンチン電車」と呼ばれ、昭和47年にその姿を消すまでの約70年間、通勤、通学、買い物足として、多くの人々に親しまれていました。かつての磯子にも、路面電車が海岸沿いを走る景色がありました。



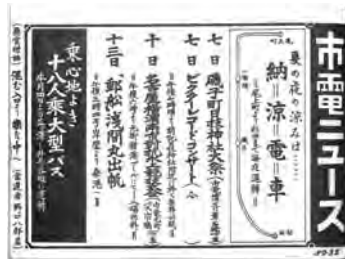
▲「市電・屏風ヶ浦」 渡辺渥美 撮影

磯子に市電がやってきた

初めて磯子に路面電車が来たのは明治45年、駿河橋から八幡橋まで延伸したときです。堀割川沿いに電車が開通すると滝頭に車庫が設けられ、朝早く夜遅い従業員のための宿舎も建てられました。その後、大正14年には聖天橋、さらに昭和2年には杉田まで延伸しました。

海岸沿いを走っていた頃

杉田まで伸びたところから、たくさんのお客様に市電に乗ってもらおうと、車内の「市電ニュース」では岡村天満宮の祭りや杉田梅林、根岸湾沿いの海水浴場といった沿線の名所を紹介しました。市電主催で、納涼花火や潮干狩り大会を開いたこともあります。



▲「市電ニュース」(横浜市中央図書館所蔵)

夏の夜には、八幡橋から杉田までの海岸通りを、ちょうちんや風鈴などで飾った「納涼電車」が走り、沿道では、明かりを揺らしながら通る風情が喜ばれ、子どもたちが面白がって追いかけていたそうです。

横浜市電保存館

P13
MAP:C-2

市電全廃の翌年、かつての車庫の一角に市電保存館が設けられました。ここでは引退した車両の展示や当時の貴重な映像などから、まちの歴史の一部に触れます。運転席に入って「チン」と鳴らせば当時の様子が思い浮かぶのでは。また、市電以外にも「鉄道模型大パノラマ」や、地下鉄の運転が体験できる「シミュレーターコーナー」などもあります。



▲金子重二 撮影



【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【入館料】高校生以上100円 小中学生50円
【問合せ】磯子区滝頭3-1-53 ☎754-8505

市電全廃の日

昭和30年に間門・八幡橋間の全線が開通し、区内の海岸沿いの道すべてに、市電が通るようになりました。このころが市電の全盛期です。その後、自動車の急増で道路が混み合うようになり、市電廃止の方向に進みました。区内では昭和42年に杉田・葦名橋間、間門・八幡橋間が廃止になり、昭和47年7月31日市電全廃の日、区内に残っていた葦名橋・天神橋間の路線も最後になりました。最後の日には、車体に「さようなら」と書かれた花電車も走り、旗を振って別れを惜しむ人々の姿が見られました。

ちょっとした見どころ

市電保存館の入り口にあるボールは、神奈川県新町の国道15号の歩道上に奇跡的に残った最後のボールを移設したものです。ボール下部には穴がありますが、これは昭和20年の横浜大空襲で受けた被弾の跡といわれています。



観梅客でにぎわった磯子の梅林

一輪一輪の清楚さや香り、幹の形や風情など、古くから多くの人たちに親しまれてきた「梅」。その昔、磯子にはたくさんの梅の木がありました。

岡村の梅林

岡村天満宮や岡村公園では、今でも多くの梅を楽しむことができますが、岡村梅林の起源は、建久年間(1190～1198)のころ、岡村天満宮の創建までさかのぼります。祭神菅原道真が梅を愛したことから梅の木が植えられるようになりました。大正初期には天満宮境内に梅林が整備され、観梅客で大いににぎわっていました。

杉田の梅林

妙法寺の境内にわずかにその面影が残っていますが、杉田梅林の歴史も古く、約400年以上前の天正年間(1573～)に領主だった間宮信繁が、戦陣での食糧として梅実を取るために、梅の木を植えたのが始まりです。その後江戸時代に入り元禄の頃(1700年頃)には、杉田を中心に数万本の梅の木があったといわれています。



▲「江戸名所図会」より「杉田村梅園」(横浜開港資料館所蔵)

江戸時代後期には梅の実の栽培が、根岸・滝頭・富岡の村々まで広がり、2月の開花期にはその匂いが海上を航行する船にまで届くといわれるほどで、桜の名所・吉野山(今の奈良県)と比べられる観梅の地でもありました。中でも、妙法寺境内の梅林は見事で、花見のころには、茶屋が軒を並べ、花見客でにぎわったそうです。

そして今

時代とともに当時の梅林はほとんど消えてしまいましたが、梅を惜しむ声は強く、昭和54年には岡村公園に「岡村梅林」が開園し、昭和62年の区制60周年には「区の木」が「梅」となりました。さらに、大粒の実が採れる磯子発祥の「杉田の梅」の復活・普及に向けたさまざまな取組も、梅と磯子を愛する人々によって行われています。

梅のお勧めスポット

一般的には、梅は1月ごろから咲き始め、3月ごろまでが見ごろです。この時期は散策しながら、梅の花も楽しんでみましょう。

- 岡村公園(P13/MAP:A-4)
- 岡村天満宮(P13/MAP:A-3)
- 久良岐公園(P19/MAP:A-2)
- 妙法寺(P23/MAP:B-3)
- 洋光台西公園(P29/MAP:A-1)
- その他、杉田梅林ふれあい公園(P23/MAP:B-4)、峯市民の森(P29/MAP:C-4)、氷取市民の森(P31/MAP:B-3)など



▲岡村公園/小若健二郎 撮影

小さな発見!

梅の実には健康に良いと昔からいわれ、梅干し・梅酒などで使われてきました。梅の実に含まれているクエン酸には、疲労回復の効果があるそうです。杉田にある保育園の園児さん達は、毎年6月になると、梅と砂糖だけで簡単に作れる「梅シロップ」を作り、7月の七夕集会で地域の人に振る舞っているとのこと。砂糖の種類で味も変わるとか。楽しく美味しく作って、夏バテ防止にもなりそうです。



洋光台・峰周辺

昭和40年代に開発された洋光台、昔ながらの集落の風景が残る峰、市内最大の緑地である円海山周辺の一角にある峯市民の森。ここは色々な景色が楽しめるエリアです。

コース⑨ 洋光台のまちを抜け、峯市民の森を歩こう

JR洋光台駅を出発して、はまぎん ども宇宙科学館がある洋光台駅前公園へ向かいます。洋光台5丁目の交差点からなだらかな坂を下っていくと、道端に細い水の流れが…。流れの先には洋光台緑地に囲まれた「トンボ池」があります。

峰の橋付近から風景は一変し、里山の風情



に。峰白山神社から、阿弥陀寺へ、そして江戸時代から続く「峯の灸」の施療を受け継ぐ護念寺へと由緒ある寺社を巡ったら、峰せせらぎ遊歩道を通して峯市民の森を目指します。自然林に覆われた峯市民の森は、梅・山桜や水仙・野スミレ・サザンカなどの花々に出会える心とむ場所です。

洋光台・峰周辺 エリアガイド

① はまぎん ども宇宙科学館

→P34

② 洋光台緑地トンボ池

MAP:A-4

トンボ池は、洋光台緑地の一角にある湧水を利用したビオトープ。「子どもたちが元気になる環境づくりをしたい」という地域の思いを受けて整備されました。地域の人たちと、磯子土木事務所が協働でつくり、管理しています。メダカやサワガニ、オニヤンマなどが観察できるこの場所は、野外授業や自然観察をテーマにしたイベントの場として活用されています。

③ 峰せせらぎ遊歩道

MAP:B-5

小さな清流沿いの遊歩道。丁寧に整備された、気持ちのよい小道です。



④ 峯市民の森

MAP:B-4

峯市民の森は、バス通りをはさんで、西のなだらかな丘と東の小高い尾根に分かれています。面積約12.5ha・散策路2,800mと、森の規模は大きくはありませんが、洋光台の住宅街のすぐそばにありながら、緑深く、身近に自然を感じることができる散歩コースです。



【問合せ】南部公園緑地事務所 ☎831-8484

逸品紹介



42 モンシェリー シュークリーム
磯子区洋光台3-10-15 ☎831-1673



43 洋光台ハンバーガーPass Time
洋光台ハンバーガー
磯子区洋光台3-13-5-104 ☎367-8081



44 サフロン ランチBセット
磯子区洋光台3-13-5-105 ☎367-8455



45 杜のパン屋さん ピーナッツコロネ
磯子区洋光台3-13-5 ☎830-5507



46 まるとい本舗 お好み焼
磯子区洋光台3-13-5-114 ☎306-7703



47 アルバートコーヒー アルバートブレンド
磯子区洋光台3-13-4-109 ☎831-6233



48 チャーニーステーブル 由(ゆう) 焼き餃子
磯子区洋光台3-13-4-102 ☎832-0011



49 富貴 五目焼きそば
磯子区洋光台3-13-4-101 ☎352-8089



50 イル・デ・パン チキンカレーパン
磯子区田中2-25-6 黒川ビル101 ☎771-9689



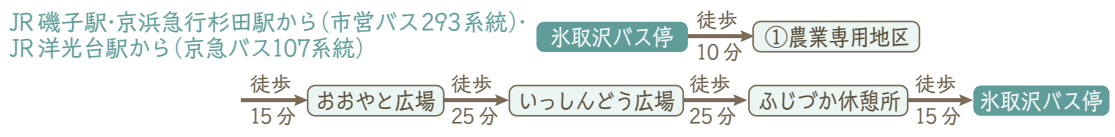
氷取沢周辺

緑豊かな氷取沢は、季節ごとに違う顔を見せ、楽しませてくれます。近くであって自然そのままの姿でいるこの森に行くと、ここが横浜であることを忘れてしまいそうです。

コース⑩ 氷取沢市民の森の木漏れ日の中へ

氷取沢市民の森へは、氷取沢バス停から農業専用地区を通って向かいます。森に入るまでは、畑などを眺めつつ歩ける平坦な道で、特にコスモスの咲く時期はお勧めです。山道を歩きたい人は、なばな休憩所まで登ってから森に向かう道もあります。

に沿って大岡川源流域を進み、さらにいっしんどう広場まで登ります。広場に出ると景色が開けて眺めも良いですが、このコースから少し北へ進むと、関東の富士見百景のポイントがあるほか、海の景色も見ることができます。いっしんどう広場からは、ふじづか休憩所までなだらかな尾根道を通り、バス停に戻りましょう。



氷取沢周辺 エリアガイド

① 農業専用地区 MAP:B-2

さまざまな野菜を育てている氷取沢の農業専用地区は、面積が約21haあり、道沿いを歩きながら、季節の野菜や可愛い草花を見ることができます。採れた野菜は、杉田などの直売所で販売しています。



② 氷取沢市民の森 MAP:A-2

大岡川の源流域があり、円海山を抱く氷取沢市民の森では、清流のせせらぎを感じたり、まちでは見かけない野鳥や昆虫に親しむことができます。なばな休憩所からは東京湾・三浦半島・房総半島、いっしんどう広場からは伊豆・箱根・富士山まで見渡せます。

【円海山】標高約153mの円海山は、大平山の中腹(山頂は鎌倉市)・大丸山に次いで横浜第3位の高さです。「海をめくらすような素晴らしい眺め」であることからこの名前がついたそうです。(円海山山頂は私有地のため立ち入りできません)

【問合せ】南部公園緑地事務所 ☎831-8484



小さな発見! 森にいる色々な生き物や植物の世界を、彼らの邪魔をしないように、そっとのぞいてみてください。



市民の森フィールド マナー
火気厳禁・ごみは持ち帰る・道からはずれない・動植物を持ち帰ったり持ち込んだりしない

注意
毒性のある動植物に近づかないようにしましょう

「もっと山を楽しみたい!」という人は
氷取沢市民の森から、金沢動物園や横浜自然観察の森、さらには鎌倉方面へも抜けることができます。氷取沢を含む円海山周辺の散策マップは、市ホームページからダウンロードできます。
円海山周辺マップ 検索
あるいは、環境創造局みどりアップ推進課(☎671-2624)へ



臨海工業地帯を探る

～磯子の工場見学～

根岸湾の埋立てによってつくられた臨海工業地帯は、日本の産業の発展に大きな貢献をしてきました。そして今も、世界に誇る技術によって、生活に欠かせない製品やエネルギーをつくりだしています。普段、あまり目にする事のない臨海工業地帯の中をのぞいてみませんか。

※工場見学は、事前の予約申込みが必要です。詳しくは各工場にお問合せください。なお、工場の施設管理等の都合により、ご希望に添えない場合があります。

J X 日鉱日石エネルギー株式会社 根岸製油所 (P9/MAP:B-3)

ペルシャ湾周辺の中東産油国から運ばれてきた原油は、さまざまな石油製品や化学品原料となり、日々の暮らしを支えています。国内有数の規模を誇る根岸製油所では、首都圏のエネルギー需要に確実に応えるため、最新技術を導入し、原油からガソリンや灯油、軽油など多くの製品を製造しています。地域向けの見学会では、製油所の概要、石油精製方法、環境や安全に対する取組などの紹介をしています。また、夏休みには「子供見学会」を開催しています。



【問合せ】磯子区鳳町1-1
☎757-7111

J-POWER (電源開発株式会社) 磯子火力発電所 (P9/MAP:C-5)

安全で使いやすいエネルギーの電気は、今の暮らしの中では欠かすことができません。石炭を燃やし蒸気をつくり、その蒸気ので電力をおこしている磯子火力発電所は、都市部の重要な電力供給源として、電気をつくり続けています。秋に開催している「J-POWERまつり」や夏休みの子ども向けイベントでも、発電所の見学ができます。



▲写真提供: J-POWER (電源開発株式会社)

～予約なしで見学できる
「ISOGOエネルギープラザ&はまかせ広場」～

構内にあるISOGOエネルギープラザは、予約なしで自由に見学ができ、展示されている模型や映像から、石炭火力発電所のしくみがわかりやすく学べます。さらに2階には、自由に散策できる「はまかせ広場」もあります。

◆ ISOGOエネルギープラザ
【開館時間】10:00～16:30
【休館日】日曜日・年末年始 【入館料】無料
◆ はまかせ広場
【開場時間】9:00～16:30
【休場日】年末年始 【入場料】無料
【問合せ】磯子区新磯子町37-2
☎750-0655

東京ガス株式会社 根岸工場 (P9/MAP:B-5)

クリーンなエネルギーである液化天然ガス(LNG)を日本で初めて取り入れた根岸工場では、現在首都圏に供給される都市ガスの約30%を製造しています。都市ガスの原料であるLNGは、気体の天然ガスをマイナス160℃程度まで冷却し液化したもので、マレーシアやオーストラリアなどからタンカーで輸送されてきます。見学コースでは根岸工場の概要説明のほか、実際にLNGを使った冷熱実験の見学、世界最大級のLNGタンクやガスの製造工程の見学ができます。



【問合せ】
磯子区新磯子町34
☎751-1704



日清オイリオグループ株式会社 横浜磯子事業場 (P19/MAP:C-4)

日清オイリオ横浜磯子事業場は、日本最大級の製油工場で、食用油をはじめ植物性たん白食品や化粧品の原料を製造しています。工場見学では、展示施設「ウェルネスギャラリー」で食用油の原料や生産工程、油の歴史などを楽しく紹介しています。また、工場敷地内をバスで巡回し、原料を運ぶ大型船が接岸する専用バス、食用油が容器につめられる様子などが見学できます。4月には「春まつり」、夏休みには「夏休みオープンファクトリー」などのイベントも開催しています。



【問合せ】磯子区新森町1 ☎757-5038

南部水再生センター (P9/MAP:C-4)

南部水再生センターは、横浜市で2番目の水再生センターとして昭和40年に運転を開始し、現在、南区の大部分、磯子区の半分、港南・中・西・保土ヶ谷区の一部の下水を処理しています。家庭や事業所から排出された下水は、さまざまな処理を行い、きれいな水にして、東京湾に放流しています。施設見学では、下水道事業の概要や、汚水や雨水が再生されてきれいな水になる過程を実際に見ることが出来ます。



【問合せ】磯子区新磯子町39
☎761-5251

+ 磯子の工場夜景

海に面し丘に囲まれた磯子区は、沿岸部はもちろんのこと、高台のまちを歩いていても、海の景色に出会えることがよくあります。青い海に貨物船が点々と浮かぶ昼間の風景は気持ちを和らげてくれますが、夜の磯子の海は一味違った景色になります。臨海工業地帯の光が作り出す独特の雰囲気は、どこか幻想的で、この磯子の工場夜景が好きという人も少なくありません。



▲今村徹 撮影

▲浦田直紀 撮影

●新磯子町 (P9/MAP:A・B-4、C-5辺り)

じっくり、ゆっくり楽しもう 区内施設ガイド

時間に余裕のあるときは、
体験しながら学んだり、音楽に耳を
傾けたり、いつもと一味違う時間を
過ごしてみたいかですか？

はまぎん こども宇宙科学館 (P29/MAP:A-2)

迫力満点のプラネタリウムで宇宙旅行

はまぎん こども宇宙科学館は、館全体が巨大な宇宙船をイメージした体験型科学館です。

フロアごとにテーマの異なる5つの展示室があり、子どもから大人まで、自分で触れて体感して、楽しく遊びながら宇宙や科学の不思議を学ぶことができます。月面ジャンプ体験、宇宙空間でのミッションや、地球への帰還を疑似体験できるスペース・シミュレーターなど、楽しい展示がいっぱい。また、重さ500kgもある本物のいん石に触れることもでき、その重量感を感じることができます。

宇宙劇場(プラネタリウム)では、直径23mのドーム全体に広がる迫力の映像と、リアルで美しい星が作りだす、臨場感あふれる宇宙を体験しましょう。天文スタッフによる解説を聞いて星への理解を深めることができ、番組内容も子ども向けのアニメーションや大人もくつろいで鑑賞できるヒーリング番組などさまざま。そのほか、身近な道具を使ったサイエンス・ショーやミニ実験も好評です。また、宇宙や科学などについて、子どもたちにもわかりやすくしっかりと学べる色々な企画もあり、見逃せません。



【開館時間】9:30~17:00
(入館は16:00まで)
【休館日】第1・3月曜日(祝日の場合は火曜日)・臨時休館・年末年始
【入館料】大人400円
小・中学生200円
※宇宙劇場(プラネタリウム)入場料別
(大人600円 4才~中学生300円)
【問合せ】磯子区洋光台5-2-1
☎832-1166

くらぎ 久良岐能舞台 (P19/MAP:A-2)

伝統をつたえる優美な能舞台

この能舞台は、大正6年に高浜虚子の実兄で能楽会の専務理事だった池内信嘉氏の尽力によって日比谷に建てられました。その後東京芸術大学に移り、昭和40年に磯子の地に移築・復元されました。現在は市の施設となっており、能楽振興のための拠点となっています。三方を山で囲まれた閑静な日本庭園の中にある久良岐能舞台は、四季折々に趣深く美しい姿を見せてくれます。舞台の鏡板は日本画壇の重鎮であった平福百穂の筆になるもので、芸術的価値の高いものです。

能楽への興味や関心を広げるために初心者向けの能楽講座を開催するほか、古典芸能の魅力や楽しみを知ってもらうための雅楽の講演や小学生向け狂言鑑賞教室など、さまざまな企画が好評を得ています。そのほか、能舞台・和室・茶室を借りて、謡や仕舞のほか、日本舞踊・詩吟・三味線・お茶会・句会などの催しに利用することもできます。

水琴窟を楽しむ 木々や草花、小鳥のさえずりなど静かな趣のある日本庭園には、水琴窟や水琴窟が楽しめる「つくばい」があります。水琴窟で水を注いで耳を傾けてみましょう。静かな庭園で聞く澄んだ音の響きが、心を落ち着かせてくれます。



【開館時間】9:00~22:00
(夜間利用がない時は~17:00)
【休館日】年末年始・原則として第3月曜日
【問合せ】磯子区岡村
8-21-7 ☎761-3854
催事内容及び施設の利用料については施設にお問合わせください。(催事などで使用していない時は、室内を見学できます)

磯子海づり施設 (P9/MAP:C-5)

大物をねらう人も、のんびり海を眺めたい人も

延長500m・幅3mの細長い桟橋で、四季の釣りが楽しめます。売店では、エサや仕掛け・飲み物などを販売しており、竿や子ども用ライフジャケットを借りることもできるので、手ぶらで出かけても大丈夫。潮流が比較的早く、魚が集まりやすいので、クロダイなどの大物が釣れることも。

【利用時間】8:00~17:00(3~6月・9~10月は~18:00 7~8月は~19:00)
【休業日】年末年始
【入場料】大人500円 小・中学生300円(見学のみ大人100円 小・中学生50円)
【問合せ】磯子区新磯子39 ☎761-1931



磯子区民文化センター 杉田劇場 (P23/MAP:B-2)

区民と共に歩む文化の拠点

平成17年にJR新杉田駅前の「らびすた新杉田」4階に開館した磯子区民文化センター杉田劇場は、ホール、ギャラリー、リハーサル室、練習室、会議室を備えた地域のための文化施設です。これらの施設の貸出しのほか、未就学児とその家族向けの「ひよこ♪コンサート」や、子どもから大人まで幅広い世代を対象にした区民参加事業「杉田リコーダーず」「杉劇☆歌劇団」などに取り組み、質の高い芸術作品の上演から身近な文化活動の発表まで、地域に密着した文化発信の場となっています。



【開館時間】9:00~22:00
【休館日】年末年始・施設点検による休館日あり
【問合せ】磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階 ☎771-1212
イベントやコンサートの内容及び施設利用料については施設にお問合わせください

杉田劇場の名前の由来

磯子区滝頭で生まれ、昭和を代表する歌手となった美空ひばりが8歳の時に初舞台を踏んだ劇場が旧「杉田劇場」です。現在の国道16号のJR根岸線高架下付近に、昭和21年から4年間存在した杉田劇場の名前は磯子区民の心に深く残っており、今も磯子区民文化センターの愛称として新しい世代へと受け継がれています。

海洋研究開発機構 横浜研究所 地球情報館(金沢区) (P23/MAP:C-3)

海や地球について学ぼう

海洋研究開発機構(JAMSTEC ジャムステック)は、研究船や有人潜水調査船「しんかい6500」、無人探査機等を使って海や大気、地球内部のさまざまな謎を調査する研究機関です。「地球情報館」は海洋研究開発機構が行っている研究や観測によって得られたデータ・映像を活用し、一般向けに紹介している展示施設です。1階映像展示室では、半球スクリーンや大型スクリーン、3D映像やアニメーションなどを自由に見学できます。また2階図書館にはたくさんの本や資料がそろっており、海や地球について学ぶことができます。その他、毎月第3土曜日には休日開館を実施し、一般向け公開セミナーや、実験教室、子ども向けおはなし会、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」の見学ツアーなども開催しています。



▲(C) JAMSTEC

【開館時間】10:00~17:00 【休館日】土・日曜日(毎月第3土曜日を除く)・祝日・年末年始
【入場料】無料 【問合せ】金沢区昭和町3173-25 ☎778-3811(平日)

磯子のむかしばなし

～人から人へ、親から子へ語り継がれてきたむかしばなし
むかしの磯子の人々の心に触れてみましょう～

しりもち山

むかし、むかしのむかしのこと。
ダイダラボッチという名前の大男がいたそう。
地面を掘っては琵琶湖をつくり、その掘った土を積み上げては富士山をつくれたというから、そりゃ、たいそうでかい男だったんだ。
ある日、ダイダラボッチが磯子へやってきた。
ドスン、ズン、ズン……たいそう調子の良い足取りだったんだが、突然目の前にひらけた海に、行く手をはばまれてしまった。はたと足をとめ、腰をおろして考えた。
「こまったな。どうしようかな。おや、むこう岸に山が見えるぞ。なんて、美しい山並なんだらう。」
お天気の良い日で、磯子の海はどこまでも青く、房総の山々が、まるで手が届くようにくっきりと見えたんだ。暖かそうで、なにか良いことがありそうなるむこう岸にどうしても行ってみたくなった。

「きつと、むこうはすばらしい国だな。へへん、おれさまの足なら、ひとまたぎせ」
そういつて、スクッと立ち上がり、足踏みをしてから、片足をもちあげて、むこう岸へのびした。
「よいしょ」
ずつとずつとむこうまでのびした。だけど、足は届かない。
「なに、これもか」
顔をまっ赤にして足をふんばったんだが……ドスン！
どうとう、大きなしりもちをついてしまった。海は思っていたより大きかったんだなあ。
ダイダラボッチは、海を見つめて考えた。「ひとまたぎじゃ、この海はこえられないとくりゃ、さてさて、どうしたもかな」
やがて、海は引き潮になった。水が引いて、海の様子が、少しずつ変わっていくと、今まで見えなかった大きな岩が姿を現した。
「こりゃ、しめたぞ」

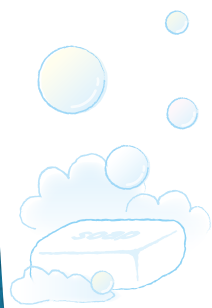
ダイダラボッチは、ボンと手をたたき、立ち上がった。
少し足ならしをして、大きく息をすって、……ちからいっぱい、助走をつけて、海のなかの岩をふみ、一歩、二歩、最後にむこう岸の山をつかんで、見事、たどり着いたのせ。
こうして、ダイダラボッチは磯子から上総の国(今の千葉県)へと渡ったんだ。天気の良い日にむこう岸に見える、ギザギザの「のこぎり山」。ありゃ、あいつがつかんだ跡さ。
それに、しりもちをついた真照寺の裏山は、その重みで、長い間木の育たないハゲ山だったそう。
それから、あいつがふんだ岩の上には、くっきりと大きな足あとがついていたが、根岸湾の埋立てでなくなっちゃったんだと。



はじめての石けんづくり

むかし、むかし、江戸時代もおわりのころの話。そのころの横浜は開港をむかえ、外国からやってくる人や物であふれかえっておった。磯子村の名主の家に生まれた堤磯右衛門(つみいそえもん)は、そんな新しい文化に、おおいに希望をいだいておった。
横須賀の製鉄所で働いていた磯右衛門は、ある日、手についた油を米ぬかであらっていた。すると同じ工場で働くフランス人の科学者が、四角いかたまりをさしだして、こういった。
「コレ、ツカイナサイ。ヨコレヨクオチマス」
手にすると「べーん」と、いいにおいがする。さっそく使ってみると、汚れがおちること、おもしろい。
「こりゃ、すごいぞ。まるで魔法のようだ」
うわさにきいたシャボンの威力に、好奇心あふせいな磯右衛門は、目をまあるくしておぼろいだ。そして、その作り方を教わったんだ。これが、日本ではじめて「石けん」をつくるきっかけとなった。
そのころ日本では、石けんといったら、ぜんぶ高価な外国製。外国人とほんの一部の

お金持ちしか、使うことはなかった。
「こんな便利なものがあるんならもっとたくさんの人に、もっと安いものを使ってほしい。そのためには、なんとして国産の石けんをつくらにやいかん！」
一大決心をした磯右衛門は、製鉄所をやめて、石けんづくりの研究をはじめた。高価な洋書をとりよせ、くる日も、くる日も実験をくりかえした。その決心はたいそう固かったんだが、たびかさをなせる実験で、お金が出るばかり。田畑は、つきつぎと人の手にわたってしまった。しかし、いつまでたっても石けんがでなかった。
といつのも、外国の本にある特別な材料が、日本では手に入らないので、なにか別のものをかわりにしなくちゃならなかったんだ。タバコの茎を焼いたアク汁に、大豆の油、牛の脂……。いろいろ混ぜてはみたものの、ドロドロ水はかたまらない。
とつとつ、財産も底をつき、さすがの磯右衛門もあきらめるしかなかった。
かたまらないドロドロ水を前に、磯右衛門は肩をがっくりおとして、ええい、こんなもの



捨ててしまえとばかりに、入れ物をつかんだが、力はいらない。
洗う元気もなく、清めの塩をふりかけて、トボトボと実験室をあとにしたんだ。
「晩明けて、次の朝。実験室の整理にやってくると、これはふしぎ。」
どうやってかたまらなかつたドロドロ水が、かたまっていくじゃないか。
もしかすると……と、思ってたかたまりで手を洗ってみると、おお、汚れがおちる。どうとう、石けんができたんだ。磯右衛門はとびあがって喜んだ。
明治6年のことだ。磯右衛門は40歳になつておった。
さっそくこのやり方で石けんをつくり、商売をはじめた。
石けんは飛ぶように売れ、大評判になった。やがて改良をかさねた堤製石けんには、香港や上海、そしてはるばるインドからも注文がくるようになったそう。

あ

- 朝日不動滝 21
- 芦名橋 20
- 安藤橋 20
- 磯子アベニュー 20
- 磯子海づり施設 35
- 磯子・海の見える公園 10
- ISOGOエネルギープラザ 32
- 磯子区民文化センター 杉田劇場 35
- 磯子七福神 15
- 磯子の逸品 3
- 円海山 30
- 大岡川分水路河畔プロムナード 21
- 岡村公園 14
- 岡村天満宮 14

か

- 海洋研究開発機構 横浜研究所
地球情報館 35
- 貴賓館 20
- 旧外国人遊歩道 11
- 旧東伏見邦英伯爵別邸 20
- 弘誓院 15
- 熊野神社 24
- 久良岐公園 21
- 久良岐能舞台 34
- 金剛院 15
- 金蔵院 15

さ

- 三殿台遺跡 16

- JX日鉱日石エネルギー株式会社
根岸製油所 32
- J-POWER(電源開発株式会社)
磯子火力発電所 32
- しりもち山 36
- 真照寺 15
- 新杉田公園 25
- 杉田川ふれあい散歩道 25
- 杉田の商店街 24
- 杉田八幡神社 24
- 杉田臨海緑地 25
- 禪馬川 14
- 疎開道路 15

た

- 坪呑公園 25
- 東京ガス株式会社 根岸工場 33
- 東漸寺 24

な

- 南部水再生センター 33
- 日清オイリオグループ株式会社
横浜磯子事業場 33
- 根岸森林公園 11
- 根岸なつかし公園 旧柳下邸 11
- 根岸八幡神社 11
- 根岸湾埋立ての記念碑 10
- 農業専用地区 30
- 農林水産省動物検疫所 10

は

- はまかぜ広場 32
- はまぎん ども宇宙科学館 34
- 浜マーケット 20
- 日枝大神 14
- 氷取沢市民の森 30
- ブリリアシティ横浜磯子の
グランドエレベーター 20
- 宝積寺 15
- 宝生寺 15
- 堀割川 17

ま

- 松ノ内公園 24
- 密蔵院 15
- 峯市民の森 28
- 峰せせらぎ遊歩道 28
- 妙法寺 25
- 森浅間神社 21

や

- 八幡橋八幡神社 10
- 洋光台緑地トンボ池 28
- 横浜市三殿台考古館 16
- 横浜市電保存館 26
- 横浜プールセンター 10
- 四間道路 15

ら

- 臨海工業地帯 32 33

「ちょっとした見どころ探し」を楽しむ

普段何気なく歩いているまちも、
少し違った視点で見ると、なんとなく楽しくなってきます。

例えばその1 ちょっとしたものに注目してみる

色々な道を少し気にしながら歩いてみると、
思わぬ発見があるかもしれません

面白い形の遊具、
と思ったら
壁には鳥が!



鳥とたまご ▶
(洋光台2丁目)

汐見台2丁目でも
目撃情報有り!

根岸の坂道、
わき水が出ている
上に何か
小さいものが!



▲わき水の上(東町) ▲沢ガニ(氷取沢)

例えばその2 高いところから見てみる

坂や階段を上るのは一苦労ですが、
高いところから見る景色は
一味違ったものかもしれません



急な階段!
足元に注意しながら
上ると...



▲眺望(坂下町) ※写真は夜明け
今村徹 撮影

例えばその3 時の流れを感じてみる

図書館にある磯子の本などを参考に、昔を
たどってみるのも面白いかもしれません

〈今〉



〈昔〉 ▲昭和3年 高橋(岡村3丁目)
「新道切通/高橋」岡村天満宮所蔵



〈昔〉 ▲昭和30年代 屏風ヶ浦
「屏風ヶ浦と市電」金田写真館所蔵

〈昔〉

▲昭和38年
市電と市バス
「16号の市電と産業道路の市バス」
渡辺渥美 撮影



〈昔〉 ▲昭和30年代
のり収穫

主な参考文献

いそごまちあるきガイド、あるつくいそご、いそご見てある記、磯子の史話、ふるさと磯子のむかしばなし、広報よこはま磯子区版、磯子そして明日へ、わたしたちの横浜、その他掲載各施設発行パンフレット等
※平成26年10月に募集した「ちょっとしたまちの見どころ」など、皆さんからいただいた情報も参考にしています。

協力

磯子区郷土研究ネットワーク、磯子区保健活動推進委員会、磯子図書館(「市電・屏風ヶ浦」「新道切通/高橋」「16号の市電と産業道路の市バス」「屏風ヶ浦と市電」の写真提供)、横浜市環境科学研究所(生き物の資料・写真提供)(以上五十音順)、その他掲載各施設
※撮影者名(敬称略)のある写真(昔の写真除く)は、平成23・25年度の写真募集・フォトコンテストで応募いただいたものを掲載しています。

磯子みどころガイド

〈発行〉

横浜市磯子区役所区政推進課

〒235-0066

横浜市磯子区磯子3-5-1

TEL: 045-750-2331

FAX: 045-750-2533

http://www.city.yokohama.

lg.jp/isogo/

平成27年2月発行